1. 第１号議案 ２０１９年度事業実績報告

1.1. 事業期間

２０１９年4月1日～２０２０年3月３１日

1.2. 事業成果

2019 年度は，奈良県をはじめ近畿を中心とした，既存のビーフォレストの管理・調査継続により、データの経年変化を見ていくとともに、自立型ビーフォレストコミュニティによる活動拠点作りとして、新たに巣箱助成制度を開始した。より積極的に，より自立的に全国にビーフォレスト活動を展開していく上での試みである。これによって、加速度的に会員数の増加、ビーフォレストの活動拠点の増加が見られた。現地指導も含めて,フォローアップに務めた。
また、7月からは、奈良県から「新たな森林環境管理における生物多様性指標検討事業」を受諾し、奈良県下で、3 年間で 105 個以上の巣箱を置き,その営巣率や,周辺の植生調査を含めた調査を行い、生物多様性に満ちた生きた森の指標づくりに寄与できることを目指してる。
本年度は 35 個設置し、報告書を提出した。
その他には、HP や会報、新たなパンフレットの制作により、会員をはじめ多くの人に活動の普及啓発を実施した。

ビーフォレスト・クラブ活動の成果

No.	項目名	２０１８年度	２０１９年度	増減
1	会員数	１０４名	**正会員：１４７名** サポート会員：１８名 家族会員：１６名 合計：１８１名	７７名
2	年度中巣箱製作数	１３８個	１２１個	▲１６個
3	巣箱設置総数	３１０個	３９２個	８２個
4	営巣数	５８個	７０個	１２個
5	営巣率	１８．７%	１７．９%	▲０．８%
6	BeeForest 数	６０ヶ所	６７ヶ所	7ヶ所

1.3. 事業実績（２０２０年３月３１日現在）

定款第５条　この法人は、その目的を達成するため、次の事業（Bee Forest 活動と呼ぶ）を行うについて、下記の５つの事業について、事業別に実績を報告します。

定款第５条
① ミツバチと森をつくる」ための活動拠点づくりに関する事業
② 日本ミツバチの保護・繁殖に関する事業
③ 日本ミツバチ等の生態実態環境調査に関する事業
④ 日本ミツバチと自然林の保全・再生に係る普及啓発に関する事業
⑤ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1.3.1. 「ミツバチと森をつくる」ための活動拠点づくりに関する事業について

1.3.1.1. 巣箱助成制度実働

既存のビーフォレストとは別に、別紙「ビーフォレスト巣箱助成協定書」、「ビーフォレスト巣箱助成」にもとづき、自立型ビーフォレストを募集し、巣箱助成説明会を実施して、日本全国から約４０組程度の参加があった。

No.	実施日	活動名	参加実績	場所
1	2019/11/17	第１回 巣箱助成制度説明会	30 名 ＋スタッフ７名	奈良市ボランティア インフォメーションセンター

No.	実施日	活動名	参加実績	場所
2	2019/11/30	第２回 巣箱助成制度説明会	１３名 ＋スタッフ４名	奈良県宇陀市菟田 猫と古民家ごはん "月うさぎ"
3	2019/12/19	巣箱助成審査会 ※１６組を選定した	審査員 ４名	事務局
4	2020/1/12	巣箱助成対象者 BF セミナー	１０名	事務局
5	2020/1/25	巣箱助成対象者 研修	１１名	事務局など
6	2020/2/ 8	巣箱助成対象者 BF セミナー	１２名	事務局
7	2020/2/ 9	巣箱助成対象者 研修	１０名	事務局など
8	2020/3 月以降	上記現地指導 ※巣箱助成申請に承認された全国の方々への指導を実施した	約３２名	広島県２か所 三重県２か所 兵庫県２か所 大阪府２か所 奈良県３か所 滋賀県２か所

1.3.1.2. 広島県尾道市向島のビーフォレスト拠点立上げ

「しまなみ地域の拠点からミツバチとかかわり、よりよい自然環境作りを一歩ずつ学んでいきたい」と志ある方が主体となり、ビーフォレストコミュニティ立上げを企画して、立上げしました。人間が自然を壊すだけでなく、自然とのつながりを守りながら、よりよくしていくにはなにができるか…共に行動し、仲間が増えました。

No.	実施日	場所	参加実績	実施内容
1	2019/10/12	広島県尾道市 向島	15 名 ＋スタッフ２名	・ミニビーフォレストセミナー
2	2019/10/13	広島県尾道市 向島	３名 ＋スタッフ２名	・巣箱製作・設置 ・巣箱の設置場所選定の練習
3	2020/3/14	広島県尾道市 向島	12 名 ＋スタッフ２名	・巣箱助成説明会 ・ミニビーフォレストセミナー
4	2020/3/15	広島県尾道市 向島	15 名 ＋スタッフ２名	・巣箱助成対象者研修

1.3.2. 日本ミツバチの保護・繁殖に関する事業について

1.3.2.1. 巣箱製作

既設の巣箱の保守メンテナンス、新しいビーフォレストエリアへの新規設置に必要な巣箱部材の調査、購買、制作、在庫管理、調達、配送などを実施した。

No.	実施日	作業名	参加実績	場所	補足
1	2019/4/7	スズメバチトラップ制作	６名	クラブ倉庫	
2	2019/6/25	巣箱製作	２名	クラブ倉庫	
3	2019/7/10	巣箱製作	４名	クラブ倉庫	
4	2019/9/4	巣箱製作	３名	クラブ倉庫	
5	2019/11/10	巣箱製作	１名	クラブ倉庫	

6	2019/11/16	巣箱製作	3名	クラブ倉庫	
7	2019/12/21	巣箱製作	4名	クラブ倉庫	
8	2020/1/11	巣箱製作	3名	クラブ倉庫	
9	2020/1/21	巣箱製作	1名	クラブ倉庫	
10	2020/1/22	巣箱製作	2名	クラブ倉庫	
11	2020/1/23	巣箱製作	2名	クラブ倉庫	
12	2020/1/24	巣箱製作	1名	クラブ倉庫	

1.3.2.2. ビーフォレスト活動における目的、及び巣箱設置数と営巣率の推移

ビーフォレスト活動には、３つの目的があります。あらためて、以下の３つの目的をみんなで推奨していきましょう！

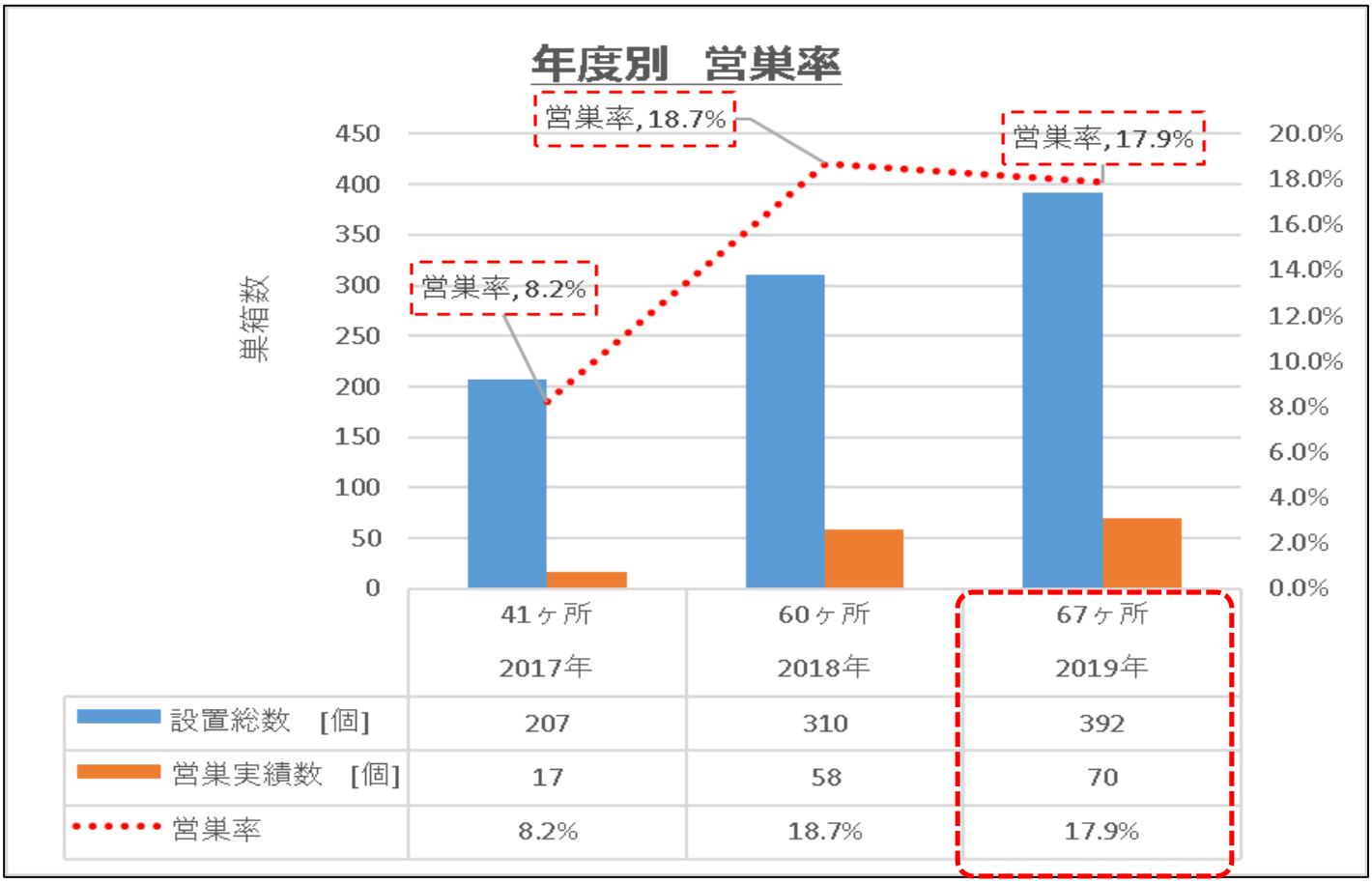
１）ミツバチを増やす
巣箱を森や農園に置いて、日本ミツバチの繁殖環境をつくり増やす活動。「巣箱助成制度」によって全国に広げています。

２）ミツバチの誤解を解く
日本人の蜂やミツバチのイメージ、日本ミツバチと西洋ミツバチの違い、森の生態系、生物多様性、西洋ミツバチ養蜂、ポリネーターの保護などについて正確な情報伝達・発信を行っています。

３）ビーフォレスト環境 MAP づくり
ビーフォレストの巣箱管理情報を基に、日本ミツバチの生息状況から自然環境を判断できるような地図の作成を行っています。

※今年度は後半に巣箱助成制度を始めたことにより、より自立的なビーフォレスト拠点も出来てきた。活動も拡大していき，巣箱設置数も増えました。

No.	年度	ビーフォレスト	総数	営巣実績数	営巣率
1	2017 年	41 ヶ所	２０７	１７	8.2%
2	2018 年	60 ヶ所	３１０	５８	18.7%
3	2019 年	67 ヶ所	３９２	７０	17.9%



1.3.3. 日本ミツバチ等の生態実態環境調査に関する事業について

奈良県からの生態実態環境調査委託事業の一環として、県有地における巣箱設置前調査、設置を実施した。※奈良県受託事業の 2019 年度報告書（奈良県作成分）は、会員が閲覧できるようにfacebook か、HP に掲載する予定です。

No.	実施日	場所	参加実績	実施内容
1	**2019/5/1 ～ 2020/3/31**	近畿大学　農学部キャンパス	３名	・巣箱設置前調査・設置 ・巣箱の観察・管理 ・営巣率や周辺の植生調査 ・報告書提出
2		吉野町西谷	３名	
3		奈良市護国神社	３名	
4		奈良公園北部	３名	
5		フォレストパーク神野山	３名	

1.3.4. 日本ミツバチと自然林の保全・再生に係る普及啓発に関する事業について

1.3.4.1. 自然観察会

自然観察会は、ビーフォレスト・クラブの「ミツバチと森をつくる」活動の実践の場の見学です。2015 年 3 月以降、神社、都市型公園、山間部、自然農園など近畿圏を中心に約６０エリア以上のビーフォレストができ、約４００個の巣箱を設置し BeeForestMAP を作成して、観察を続けている。会員や一般の方に向けて、森の生態系と、「にほんみつばちが森をつくる仕組み」について解説し、活動のコンセプトを発信し、環境保全、再生に係る普及啓蒙につなげる自然観察会を開催した。

No.	実施日	場所	参加実績
1	2019/5/12	枚岡神社	42 名
2	2019/7/7	枚岡神社	11 名
3	2019/9/1	枚岡神社	23 名
4	2019/11/3	枚岡神社	17 名

1.3.4.2. ビーフォレスト・クラブ正会員向けセミナー

正会員に対して、ミツバチの誤解、生態、日本ミツバチと森の関係性、生態系の循環、ビーフォレスト活動の活動意義、目的などの理解に向けたセミナーを実施した。

No.	実施日	場所	参加実績
1	2019/4/14	事務局	5 名
2	2019/7/14	事務局	6 名
3	2019/10/19	事務局	9 名

1.3.4.3. 林業地域向けビーフォレストセミナー＆巣箱作りワークショップ

日本の造林発祥の地として日本遺産にも認定されている、林業の聖地・吉野郡で森との共生のために具体的に何ができるのか。吉野林業の美しい林づくりを知った上で、自然を観察する事を通して色んな角度から考えていきたいという思いで企画された本イベントには吉野町長・産業振興課長や吉野高校森林学科の先生&生徒が参加して、町のケーブルテレビで放映されました。

No.	実施日	場所	参加実績	実施内容
1	2019/6/1	奈良県吉野町	27 名 ＋スタッフ７名	・ビーフォレストセミナー ・巣箱製作・設置 ・巣箱設置の練習

1.3.4.4. 教育機関向け、講演、教育プログラム「大阪樟蔭女子大学」

「ミツバチと森をつくる」ビーフォレスト活動が、フィールドワークとして授業に取り入れられました。「生態系」を言葉で理解しても、なかなか身につきません。実際に命の繋がりを歩いて、触れて、感じて・・・身体で理

解することを目的に、当教育プログラムが実施された。

No.	実施日	場所	参加実績	実施内容
1	2019/6/ 2	・大阪樟蔭女子大学 ・春日山原始林他	約 40 名	・授業 ・フィールドワーク

1.3.4.5. 日本奥山学会における特別講演会

日本最大の会員数を擁する実践環境保護団体　日本熊森協会から「木を植えるだけでは森は再生しない。日本ミツバチの保護を通して森をつくる活動から見えてきたものについて」依頼を受け、講演した。

No.	実施日	場所	参加実績	実施内容
1	2019/7/7	関西学院大学	１００名	講題「日本ミツバチからみる森の再生」

1.3.4.6. 世界農業遺産住民提案型地域活動支援事業 「世界農業遺産環境シンポジウム」講演

日本有数の梅の産地である和歌山県田辺、みなべ町。そもそも、森の生態系の循環で梅を栽培していたことから、現代社会にはないあるべき自然と人間の関係性のあり方が認められて、世界農業遺産として認定をうけ、その維持、成長を目指す地元の方々からの要請で、記念講演を実施した。

No.	実施日	場所	参加実績	実施内容
1	2020/1/18	みなべ町役場大会議室	５２名	「ミツバチに学ぶ自然を味方につける農業や漁業のこれから」

1.3.5. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業について

1.3.5.1. ビーフォレストキャンプ

奈良県からの環境調査の委託事業としての場所に指定されている野外活動センターにて、今後の巣箱管理者全国研修の実施候補場所としての調査もかねて、正会員だけによる研修を実施した。

No.	実施日	場所	参加実績	実施内容
1	2019/9/28	奈良県立野外活動センター	約 13 名	・巣箱設置場所の選定訓練 ・懇親会

1.3.5.2. ホームページの制作・リリース

ビーフォレスト・クラブの活動目的と実績を広く一般社会に情報発信して、より多くの賛同者とともに行動できるようにすべく、ホームページを制作し、リリースした。

No.	実施日	場所	参加者	実施内容
1	2019/11/24	法人事務局	３名	ホームページ制作＋公開

1.3.5.3. 会報の発行

ビーフォレスト・クラブの活動目的と実績を広く一般社会に情報発信して、より多くの賛同者とともに行動できるようにすべく、さらに、クラブ内部の情報共有、コミュニケーション手段としての会報を制作してリリースした。

No.	実施日	場所	実績	実施内容
1	2020/3/31	法人事務局	２名	会報の制作＋リリース

1.3.5.4. 理事会

事業運営、企画、実務、トラブル対応などについて、理事会を実施しました。

No.	実施日	場所	実績	実施内容
1	2019/5/12	法人事務局	５名	事業運営、企画、トラブル対応等
2	2019/6/16	法人事務局	４名	事業運営、企画、トラブル対応等
3	2019/7/13	法人事務局	５名	事業運営、企画、トラブル対応等
4	2019/8/4	法人事務局	４名	事業運営、企画、トラブル対応等